



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆とし子おばちゃん、103歳の大往生◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、私の母は5男6女の11人兄妹なのですが、先日、4月9日にその長女である、とし子おばちゃんが永眠いたしました。大正10年（1921年）生まれの、なんと103歳の大往生。葬儀は親族と近い身内で済ませる家族葬を平塚で行い、喪主である従兄弟からの依頼で、告別式にてひと言挨拶をさせていただきました。今回はその挨拶の内容を書かせていただきます。

「このような席ですので、『とし子伯母さん』と呼ぶべきなのは重々承知しておりますが、あえていつも通り『じいちゃん家のおばちゃん(※)』と呼ばせていただくことをご了承ください。(※私の母は昭和12年生まれ。姉妹の年齢差は16歳。私との年齢差は43歳で、まるで孫のように接してくれていたため、そのような呼び名です)

私が、じいちゃん家のおばちゃんと縁をいただいたのは、私の母が高校卒業した際、おばちゃんが『平塚に来たら』と声をかけてくれたことがきっかけと聞いております。母は高校卒業後、じいちゃん家のおばちゃんを頼って、福島から平塚へ出てきたんですね。ツレの寅三じいちゃん(義伯父)が面倒見のいい人だったから勤めていた横浜ゴムの社宅に居候させてくれて、じいちゃんの口添えで横浜ゴムに入社させていただいたと聞いております。

横浜ゴムに入社した母は、その後、職場で父と知り合って結婚。そして、私が誕生したんですね。母と私は出産の退院後、そのまま真っ直ぐおばちゃん家に帰ったと聞いています。寅三じいちゃんとおばちゃんには、生まれてからずっと初孫の扱いで可愛がっていただいた記憶しかありません。

私たち家族は、おばちゃんに感謝しきれないくらい面倒を見ていただきました。妹の千秋が生まれたとき、私はおばちゃん家に預けられました。(2枚目へ→)

(続き→) 下の妹のかおりが生まれた時は、おばちゃんの家に来てくれて、私達の食事の世話をしてくれましたね。いつも手をかけた料理美味しかったよ。また、母が手術することになった時、父が入院した時、父が亡くなった時、おばちゃんはいつも私達の側にいてくれましたね。

そんなおばちゃんの人柄を表すエピソードを一つお話させてください。今から50年ほど前、寅三じいちゃんとおばちゃんが横浜ゴムの仲間とハワイ旅行に行きましたね。帰国する時、いとこの京子ちゃんに連れられて羽田空港まで2人をお迎えに行きました。『みんなにお土産買って来たよ』って言われて、おばちゃん家に帰宅してお土産をいただきました。妹2人にはハワイアン衣装の赤と黄色のムームーだったと記憶しています。いかにもハワイ土産って感じです。それが私へのお土産は、何故か MADE IN JAPAN のセーラーの万年筆だったことが、とても印象的で記憶に残っています。後に聞いたのですが、この万年筆はハワイへ出発する前に私へのお土産として用意してあったと聞きました。この品は間もなく中学生になる私への気持ちがかもっていたと聞き、やっぱりおばちゃんらしいよって思いました。

そんな人柄のおばちゃんですから、家族を含め、人の悪口を言ったことを聞いた記憶がありません。自分の兄妹、寅三じいちゃんの兄妹、甥姪のことも公平に大切にされてきましたね。皆さん感謝していますよ。

昨日、通夜式のお坊さんのご挨拶で、浄土真宗では亡くなられた時点で仏様になるとお聞きしました。早速、仏の世界で、先に行かれた寅三じいちゃんや庄太郎じいさん、シツばあちゃん、息子のまっちゃん、妹の愛子おばちゃん、惟枝おばちゃん、ゆうちゃん、英ちゃん、そして私の父たちに囲まれて歓迎パーティで歌えや踊れやの最中でしょうか。これからは仏様の世界で楽しく過ごしてください。今まで面倒みてくださり、誠に有難うございました。感謝申し上げます」

今回は以上です。最後までお読みいただき、どうもありがとうございました。

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいますようよろしくお願いいたします■

【発行元】

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム

株式会社
神奈中情報システム



大森



米山